

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 日本特殊塗料株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4619 URL http://www.nttoryo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 万喜夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務業務本部長 (氏名) 田谷 純 (TEL) 03-3913-6134
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	44,309	6.5	2,070	△10.0	3,481	△18.4	2,116	△27.1
30年3月期第3四半期	41,588	20.7	2,300	6.0	4,268	△11.0	2,901	△15.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,044百万円(△77.4%) 30年3月期第3四半期 4,617百万円(77.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	95.88	—
30年3月期第3四半期	131.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	73,065	43,444	54.6
30年3月期	76,655	43,674	52.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 39,909百万円 30年3月期 40,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
31年3月期	—	16.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	20.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,400	5.5	2,600	△20.9	4,400	△25.2	2,600	△34.3	117.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	23,611,200株	30年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,600,289株	30年3月期	1,502,138株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	22,069,713株	30年3月期3Q	22,109,881株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持しているものの、原材料価格等のコスト上昇や相次ぐ自然災害により停滞が懸念される状況となりました。さらに世界経済の先行きについても、米国の保護主義的な政策に端を発する貿易摩擦激化の影響から、依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、当期からスタートしております中期経営計画に基づき、国内事業での安定的な収益基盤の構築、「技術のニットク」の強化と新技術・新製品の開発等に取り組み、企業価値向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、自動車製品関連事業を中心とした国内外での受注増加により443億9百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

損益面につきましては、一定の増収効果があったものの、原材料価格の高騰や固定費負担の増加等から、営業利益は20億7千万円（前年同期比10.0%減）となりました。経常利益は、持分法による投資利益の減少等により34億8千1百万円（前年同期比18.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億1千6百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[塗料関連事業]

当セグメントの業績につきましては、売上高は工事関連売上が好調に推移し、前年同期を上回りましたが、セグメント利益は原材料価格の高騰、固定費増加等により前年同期を下回りました。

品種別売上高につきましては、屋根用塗料、床用塗料、防水用塗料等はほぼ前年同期並みとなったものの、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事につきましては、大型物件の受注増加等により前年同期比9.3%増と伸張いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は122億2千1百万円（前年同期比3.4%増）、セグメント利益は1億6千7百万円（前年同期比53.0%減）となりました。

[自動車製品関連事業]

当セグメントの業績につきましては、売上高は国内外で新規部品を中心に受注が増加したことから前年同期を上回りました。セグメント利益は、生産効率化に努めたものの売上原価の高止まりで、前年同期を下回る結果となりました。

品種別売上高につきましては、主力製品の吸・遮音材が、前年同期比13.2%増と大きく伸張し、防錆塗料等の塗材、金型等その他売上も順調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は320億7千7百万円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は18億9千8百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

[その他]

保険代理業の売上高は9百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ35億8千9百万円減少し、730億6千5百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少20億3千9百万円、投資有価証券の減少11億7千7百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ33億6千万円減少し、296億2千万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加3億7千4百万円、未払法人税等の減少3億3千9百万円、流動負債のその他に含まれる設備電子記録債務の減少13億7千6百万円および未払費用の減少2億3千万円、長期借入金の減少6億9千万円、繰延税金負債の減少3億6千7百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億2千9百万円減少し、434億4千4百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加13億6千3百万円、自己株式の取得による減少2億4千4百万円、その他有価証券評価差額金の減少12億6千9百万円、為替換算調整勘定の減少2億1千2百万円、非支配株主持分の増加1億1百万円によるものです。この結果、自己資本比率は2.1%増加し54.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年11月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,760	5,721
受取手形及び売掛金	12,981	12,528
電子記録債権	3,974	3,996
商品及び製品	1,573	1,543
仕掛品	600	397
原材料及び貯蔵品	1,138	1,310
その他	1,355	778
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	29,377	26,271
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,234	8,273
機械装置及び運搬具(純額)	7,555	9,464
土地	4,695	4,695
建設仮勘定	2,651	686
その他(純額)	1,907	2,255
有形固定資産合計	25,044	25,375
無形固定資産		
その他	1,191	1,095
無形固定資産合計	1,191	1,095
投資その他の資産		
投資有価証券	19,117	17,939
長期貸付金	322	320
繰延税金資産	162	139
その他	1,475	1,963
貸倒引当金	△35	△40
投資その他の資産合計	21,042	20,321
固定資産合計	47,278	46,793
資産合計	76,655	73,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,412	12,388
短期借入金	3,067	3,441
リース債務	47	29
未払法人税等	510	171
役員賞与引当金	91	-
その他	6,586	4,566
流動負債合計	22,715	20,598
固定負債		
長期借入金	4,966	4,276
リース債務	181	112
退職給付に係る負債	4,090	3,974
繰延税金負債	985	618
その他	40	40
固定負債合計	10,265	9,022
負債合計	32,981	29,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,237	4,237
利益剰余金	26,103	27,467
自己株式	△499	△744
株主資本合計	34,594	35,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,383	4,114
為替換算調整勘定	309	97
退職給付に係る調整累計額	△48	△15
その他の包括利益累計額合計	5,645	4,196
非支配株主持分	3,434	3,535
純資産合計	43,674	43,444
負債純資産合計	76,655	73,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	41,588	44,309
売上原価	32,548	35,284
売上総利益	9,040	9,024
販売費及び一般管理費	6,739	6,953
営業利益	2,300	2,070
営業外収益		
受取配当金	188	215
持分法による投資利益	1,683	1,234
その他	191	114
営業外収益合計	2,062	1,564
営業外費用		
支払利息	81	75
為替差損	-	71
その他	13	7
営業外費用合計	95	154
経常利益	4,268	3,481
特別利益		
固定資産売却益	0	5
受取保険金	5	1
投資有価証券売却益	101	9
特別利益合計	107	15
特別損失		
固定資産処分損	147	99
投資有価証券売却損	-	0
特別損失合計	147	100
税金等調整前四半期純利益	4,228	3,396
法人税等	766	742
四半期純利益	3,461	2,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	559	537
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,901	2,116

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	3,461	2,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,301	△1,254
為替換算調整勘定	△21	△314
退職給付に係る調整額	65	32
持分法適用会社に対する持分相当額	△189	△72
その他の包括利益合計	1,155	△1,609
四半期包括利益	4,617	1,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,071	667
非支配株主に係る四半期包括利益	546	377

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,823	29,755	41,578	9	41,588	—	41,588
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	11,826	29,755	41,581	9	41,591	△2	41,588
セグメント利益	356	1,939	2,296	4	2,300	—	2,300

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,221	32,077	44,299	9	44,309	—	44,309
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	12,224	32,077	44,301	9	44,311	△2	44,309
セグメント利益	167	1,898	2,065	4	2,070	—	2,070

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。